

「はやぶさ講演会」ワークシート



令和元年9月12日(木)

3年B組

講師 藤垣雄一さん(日本工機)

講師紹介:裏を見て下さい。

<メモ>

はやぶさ2のミッション → 惑星内部からのサンプル採集

惑星を作る物質の調査, 成長過程の調査 など

“クレーターを大きく, 装置は軽く, 小さく” by JAXA

東日本大震災で被災(計画途中)

<感想>

今回, 講演会を聞いて, 宇宙とのつながりをあらためて感じました。また, 惑星を調べるためには様々な条件や注文があり, たくさん訂行錯誤をしたのだと知った。そして, 計画の途中で東日本大震災で被災しながらも, あきらめずに研究を続けたことはすごいことだと思いました。宇宙にはまだたくさんの惑星も知られていないことがあると思うし, これからもたくさんの発見があると思う。今後, まちまち技術が発展し, 宇宙とのつながりを意識することができることを期待している。私は宇宙に関係する仕事をするつもりはないが, 将来宇宙についていろいろいぬいされることは興味があるので, 今後機会があれば調べてみたい。私も藤垣さんたちのように, あきらめずに訂行錯誤して, 物事を成功させるようにしたい。

自己評価 (○を付ける)

話を聞く態度はよかったか?

(A)・B・C

このワークシートはきちんと書いたか?

(A)・B・C

「はやぶさ講演会」ワークシート



令和元年9月12日(木)

3年B組

講師 藤垣雄一さん(日本工機)

講師紹介:裏を見て下さい。

開発設計ポイント

・形状設計 → ケース、ライナー

・衝突状設計 → クレーター生成状況が変わる

爆薬作り方: 混和機でもちを練るようにして製造する

リュウグウでの活動

クレーター生成に成功

探求心を持つつけることが大切。宇宙開拓 → 実現する時代

はやぶさの衝突装置の構状や重さ、早さなど、くわしく映像で見ることができ、とても勉強になりました。実際に発射の実験の様子を見て、早いスピードで威力のある衝突に驚きました。爆薬作りは混和機でもちを練るようにして製造することを知り、想像しやすい説明で分かりやすかったです。はやぶさについてあまり知識がなかったのですが、今回の講演を聞いて興味が出てきました。一コマの設計に手間がかかっている、技術力がなくては出来ないフクロの力かなと強く感じました。宇宙を開拓するのは不可能ではないかと考えていましたが、実現する時代になってくるといふのを聞き、日本の技術はこれからどんどん上がっていくことに誇りを感じました。40年後には、温度が高くなりすぎて人が住めなくなるという、そんなふうな、電気をあまり使わないように工夫したり、自然を壊さないような環境作りを取り組むべきだと思いました。私自身も環境に良い取り組みをしたいと考えました。

自己評価 (○を付ける)

話を聞く態度はよかったか?

A · B · C

このワークシートはきちんと書いたか?

A · B · C

「はやぶさ講演会」ワークシート



令和元年9月12日(木) 3年B組 [Redacted]

講師 藤垣雄一さん(日本工機)
講師紹介:裏を見て下さい。

宇宙の外気にもたえらるものを作ったのは、すごいと思った。
宇宙関係の知識があまりないと言っていたのに、JAXAの希望したものを開発することのできる技術が東北地方にあることはほめるべきだと思う。東日本大震災で工場が1ヵ月ほど停止し、研究することが難しい環境の中でも、700kgのラジウムなどその場で対応したのは宇宙へのあこがれや強い情熱があったから、続けることができたのだと思う。

開発に手をあげたのが部下の若手だったことも勇気のいることだと思った。やはりこれからは未来を走っていくためにも若手が頑張るべきだと思った。40年~50年先の未来は宇宙に住んでいられるかもしれないという話を聞いて、面白いと思った。たった、50年くらいで自分の住んでいられる世界が変わってしまうことはあまり想像できないけれど、すごい楽しみだ。世界を変えることができれば、
(化)学技術が進んでいる今は、AIロボットなどで代わらる仕事も多いので、自分は人との関わりを大切にできる仕事をしたいと思った

自己評価 (○をつける)

話を聞く態度はよかったか?

このワークシートはきちんと書いたか?

(A)・B・C
A・(B)・C